

# I 無党派層についての分析

## 無党派層についての分析

芝井清久

神奈川大学 人間科学部 教務補助職員

統計数理研究所 データ科学研究系 特任研究員

注) 図表は「不明・無回答」を除外して作成した。設問によっては「その他」の回答も除外した。この分析では、Q13で「支持政党なし」と答えた有権者を無党派層と定義する。

**Q13 と Q15-1, 2 のクロス表**

			Q13		合計
			支持政党なし	支持政党あり	
Q15-1	男性	度数	76	78	154
		行%	49.4%	50.6%	100.0%
	女性	度数	122	75	197
		行%	61.9%	38.1%	100.0%
Q15-2	20代	度数	20	3	23
		行%	87.0%	13.0%	100.0%
	30代	度数	64	23	87
		行%	73.6%	26.4%	100.0%
	40代	度数	46	18	64
		行%	71.9%	28.1%	100.0%
	50代	度数	36	25	61
		行%	59.0%	41.0%	100.0%
	60代	度数	22	47	69
		行%	31.9%	68.1%	100.0%
	70代	度数	10	37	47
		行%	21.3%	78.7%	100.0%
合計		度数	198	153	351
		行%	56.4%	43.6%	100.0%

(コメント)

- ・ 性別・年代いずれも支持政党の有無に関連があるといえる。とくに年代とは非常に強い関連があり、グラフからもはっきりと読み取ることができる。
- ・ 支持政党の有無を性別で見ると、男性はほぼ半々であったのに対して、女性は支持政党なしと答えた有権者が 61.9%と多かった。
- ・ 年代で見ると、年代が下がるごとに無党派層の割合が増加している。50代と60代で支持政党なしの割合が支持政党ありを上回っている。

カイ2乗検定 (性別)

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)	正確有意確率 (両側)	正確有意確率 (片側)
Pearson のカイ2乗	5.561	1	0.018	0.023	0.012
連続修正(a)	5.062	1	0.024		
尤度比	5.563	1	0.018		
Fisher の直接法					
有効なケースの数	351				

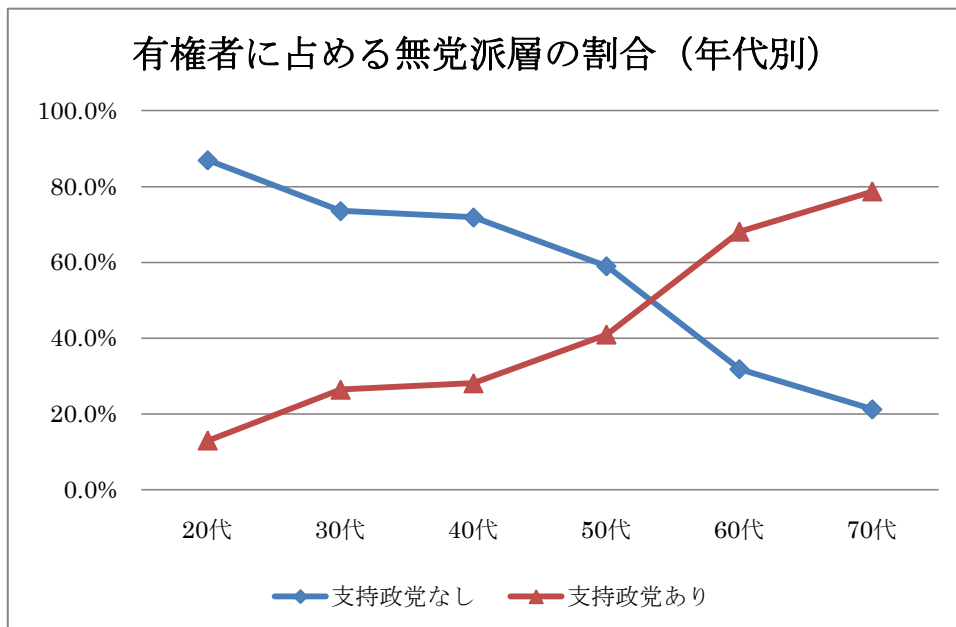
a. 2x2 表に対してのみ計算

b. 0 セル (.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は 67.13 です。

カイ2乗検定 (年代)

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ2乗	66.005	5	0.000
尤度比	68.835	5	0.000
有効なケースの数	351		

a. 0 セル (.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は 10.03 です。



Q1. 昨年の夏に行われた衆議院選挙の投票にあなたは行きましたか。また、投票に行かれた方は比例代表ではどこの政党に投票しましたか。

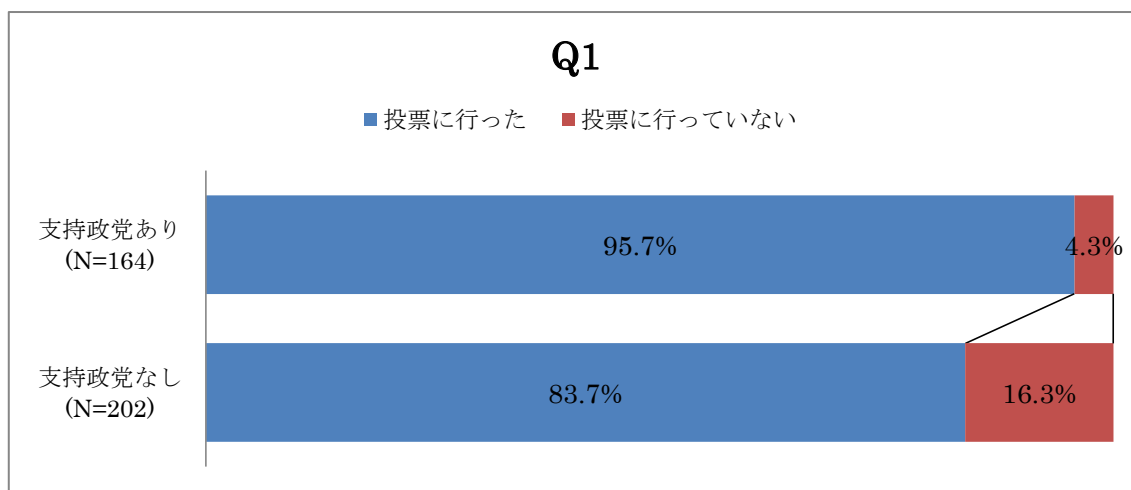
	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 投票に行った	169	83.7%	157	95.7%	326	89.1%
2 投票に行っていない	33	16.3%	7	4.3%	40	10.9%
有効回答数	202	100.0%	164	100.0%	366	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)	正確有意確率 (両側)	正確有意確率 (片側)
Pearson のカイ 2 乗	13.542 <sup>a</sup>	1	.000		
連続修正 <sup>b</sup>	12.331	1	.000		
尤度比	14.843	1	.000		
Fisher の直接法				.000	.000
有効なケースの数	366				

a. 0 セル (.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は 17.92 です。

b. 2x2 表に対してのみ計算



(コメント)

- ・ 支持政党の有無と投票に行ったか行かないかの間には関連性がある。
- ・ 支持政党ありの有権者の 95%以上が投票に行ったのに対して、無党派層は 10%以上それより低い。

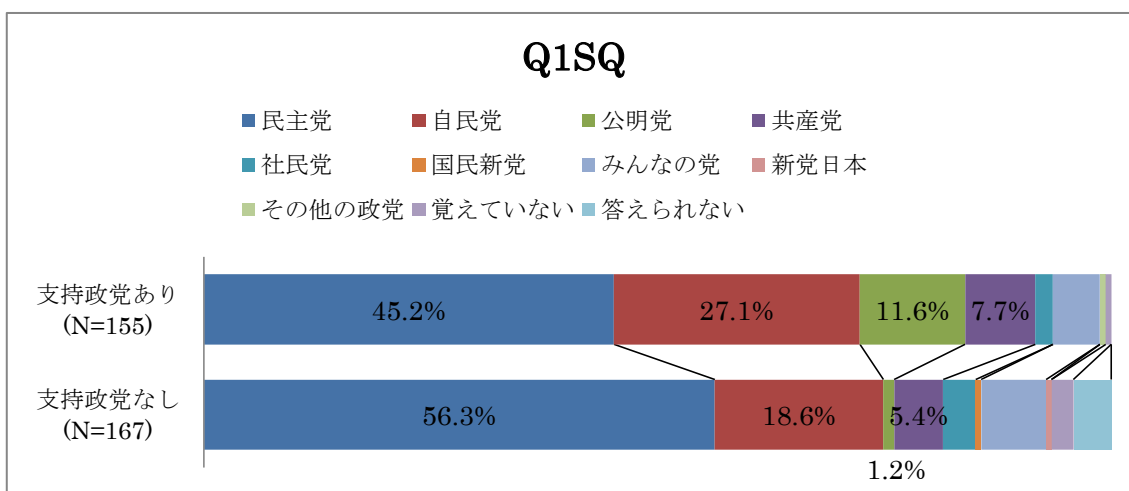
Q1SQ. あなたが比例代表で投票した政党はどこですか。

	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 民主党	94	56.3%	70	45.2%	164	50.9%
2 自民党	31	18.6%	42	27.1%	73	22.7%
3 公明党	2	1.2%	18	11.6%	20	6.2%
4 共産党	9	5.4%	12	7.7%	21	6.5%
5 社民党	6	3.6%	3	1.9%	9	2.8%
6 国民新党	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
7 みんなの党	12	7.2%	8	5.2%	20	6.2%
8 新党日本	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
9 その他の政党	0	0.0%	1	0.6%	1	0.3%
10 覚えていない	4	2.4%	1	0.6%	5	1.6%
11 答えられない	7	4.2%	0	0.0%	7	2.2%
有効回答数	167	100.0%	155	100.0%	322	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	31.595 <sup>a</sup>	10	.000
尤度比	37.509	10	.000
有効なケースの数	322		

a. 12 セル (54.5%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .48 です。



(コメント)

- ・ 支持政党の有無と投票した政党には強い関連性があることがうかがえる。
- ・ 衆院選では無党派層の過半数が民主党に投票した。反対に当時の与党自民党・公明党への投票率は支持政党ありに比べるといずれも 10%前後低い。

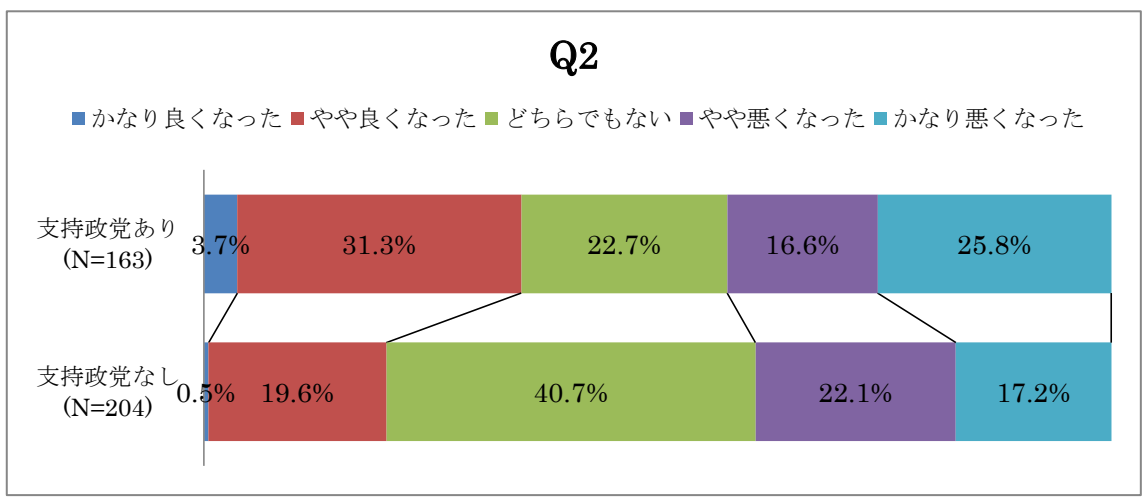
Q2. 昨年の夏の衆議院選挙の結果、民主党を中心とした政権交代がありました。この政権交代によって日本の政治は総合的に考えて良くなったと思いますか、それとも悪くなったと思いますか。

	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 かなり良くなった	1	0.5%	6	3.7%	7	1.9%
2 やや良くなった	40	19.6%	51	31.3%	91	24.8%
3 やや悪くなった	45	22.1%	27	16.6%	72	19.6%
4 かなり悪くなった	35	17.2%	42	25.8%	77	21.0%
5 どちらでもない	83	40.7%	37	22.7%	120	32.7%
有効回答数	204	100.0%	163	100.0%	367	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	23.382 <sup>a</sup>	4	.000
尤度比	23.984	4	.000
有効なケースの数	367		

a. 2 セル (20.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は 3.11 です。



(コメント)

- ・ 支持政党の有無と政権交代への評価には関連性があるといえる。
- ・ 日本の政治が「かなり・やや良くなった」と答えたのは無党派層が 20.1%、支持政党ありが 35%であった。一方、「やや・かなり悪くなった」と答えたのは無党派層が 39.3%、支持政党ありが 42.4%であった。悪くなったと答えた割合にはあまり差が無いが、良くなったと答えた割合には 10%以上の差がある。
- ・ 支持政党ありの有権者の 4 人に 1 人が「かなり悪くなった」と答えた。
- ・ 「どちらでもない」の回答では、無党派層の最も多い 40.7%が答えたのに対して、支持政党ありでは 22.7%と 2 割近い大きな差がある。
- ・ 支持政党ありの約 8 割が良くも悪くも政権交代が日本の政治に影響を与えたと感じているのに対して、無党派層は政権交代の政治的影響を感じる有権者が約 6 割と相対的に少ない。

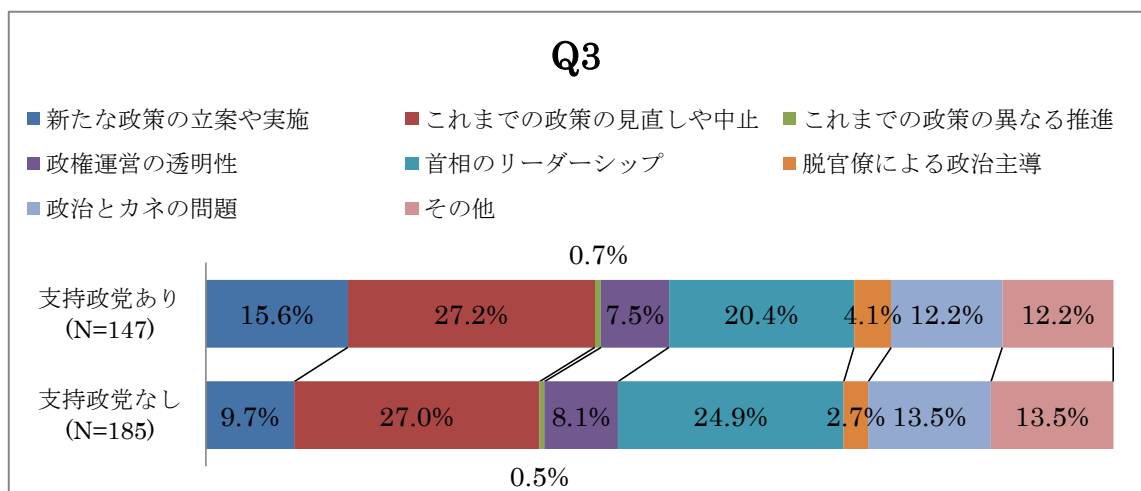
Q3. Q2 で特にそう思うことは何ですか。次の中から特にそう思うこと一つを選んでください。

	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 新たな政策の立案や実施	18	9.7%	23	15.6%	41	12.3%
2 これまでの政策の見直しや中止	50	27.0%	40	27.2%	90	27.1%
3 これまでの政策の異なる推進	1	0.5%	1	0.7%	2	0.6%
4 政権運営の透明性	15	8.1%	11	7.5%	26	7.8%
5 首相のリーダーシップ	46	24.9%	30	20.4%	76	22.9%
6 脱官僚による政治主導	5	2.7%	6	4.1%	11	3.3%
7 政治とカネの問題	25	13.5%	18	12.2%	43	13.0%
8 その他	25	13.5%	18	12.2%	43	13.0%
有効回答数	185	100.0%	147	100.0%	332	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	3.775 <sup>a</sup>	7	.805
尤度比	3.758	7	.807
有効なケースの数	332		

a. 3 セル (18.8%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .89 です。



(コメント)

- ・ Q2 政権交代の評価と支持政党の有無には関連があったが、そう評価する理由と支持政党の有無には関連が見られず、無党派層と支持政党ありの間には意見の相違が見られない。
- ・ 「首相のリーダーシップ」を選んだ有権者 76 名中 55 人は Q2 で「やや・かなり悪くなった」を選んだ。三重クロス表を見ると、無党派層で「Q2 どちらでもない・Q3 首相のリーダーシップ」と答えた有権者が 17 名いたのに対して、支持政党ありで「Q2 どちらでもない・Q3 首相のリーダーシップ」と答えた有権者は 3 名しかいなかった。この組み合わせの回答の多さは無党派層の特徴といえる。
- ・ 「Q2 やや良くなった」と選んだ理由は無党派層も支持政党ありも「Q3 これまでの政策の見直しや中止」が最も多い。

三重クロス表 (Q13, Q2, Q3)

Q13	Q2	Q3	新たな政策の立案や実施	の見直しや中止	これまでの政策の異なる推進	これまでの政策の異なる推進	政権運営の透明性	首相のリーダーシップ	脱官僚による政治主導	政治とカネの問題	その他	有効回答数
1 支持政党なし	かなり良くなった	度数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		行%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	やや良くなった	度数	3	25	0	5	1	1	0	4	39	
		行%	7.7%	64.1%	0.0%	12.8%	2.6%	2.6%	0.0%	10.3%	100.0%	
	やや悪くなった	度数	4	9	1	2	15	1	6	4	42	
		行%	9.5%	21.4%	2.4%	4.8%	35.7%	2.4%	14.3%	9.5%	100.0%	
	かなり悪くなった	度数	6	2	0	2	13	1	8	3	35	
		行%	17.1%	5.7%	0.0%	5.7%	37.1%	2.9%	22.9%	8.6%	100.0%	
	どちらでもない	度数	5	13	0	6	17	2	11	14	68	
		行%	7.4%	19.1%	0.0%	8.8%	25.0%	2.9%	16.2%	20.6%	100.0%	
有効回答数		度数	18	50	1	15	46	5	25	25	185	
		行%	9.7%	27.0%	0.5%	8.1%	24.9%	2.7%	13.5%	13.5%	100.0%	
2 支持政党あり	かなり良くなった	度数	1	3	0	1	0	0	0	0	5	
		行%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	やや良くなった	度数	8	23	0	5	0	4	1	5	46	
		行%	17.4%	50.0%	0.0%	10.9%	0.0%	8.7%	2.2%	10.9%	100.0%	
	やや悪くなった	度数	2	2	0	0	13	0	5	1	23	
		行%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	56.5%	0.0%	21.7%	4.3%	100.0%	
	かなり悪くなった	度数	6	5	1	1	14	2	5	3	37	
		行%	16.2%	13.5%	2.7%	2.7%	37.8%	5.4%	13.5%	8.1%	100.0%	
	どちらでもない	度数	6	7	0	4	3	0	7	8	35	
		行%	17.1%	20.0%	0.0%	11.4%	8.6%	0.0%	20.0%	22.9%	100.0%	
有効回答数		度数	23	40	1	11	30	6	18	17	146	
		行%	15.8%	27.4%	0.7%	7.5%	20.5%	4.1%	12.3%	11.6%	100.0%	

カイ 2 乗検定

Q13		値	自由度	漸近有意確率 (両側)
1	Pearson のカイ 2 乗	62.163 <sup>a</sup>	28	.000
	尤度比	67.965	28	.000
	有効なケースの数	185		
2	Pearson のカイ 2 乗	77.455 <sup>b</sup>	28	.000
	尤度比	88.107	28	.000
	有効なケースの数	146		

a. 24 セル (60.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .01 です。

b. 28 セル (70.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .03 です。



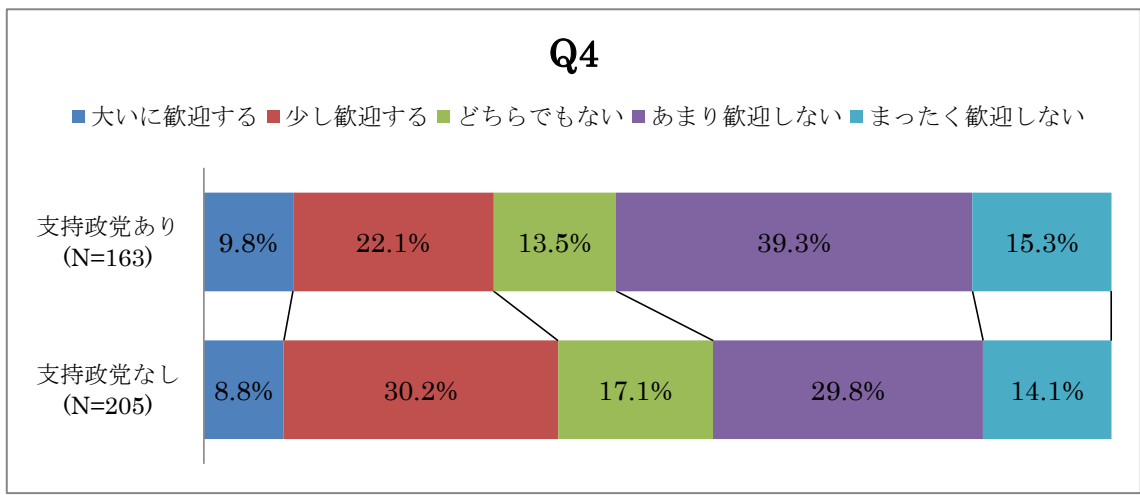
Q4. 今年の夏の参議院選挙を前に、さまざまな新党結成の動きがありますが、あなたは、このような動きをどのように思いますか。

	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 大いに歓迎する	18	8.8%	16	9.8%	34	9.2%
2 少し歓迎する	62	30.2%	36	22.1%	98	26.6%
3 あまり歓迎しない	61	29.8%	64	39.3%	125	34.0%
4 まったく歓迎しない	29	14.1%	25	15.3%	54	14.7%
5 どちらでもない	35	17.1%	22	13.5%	57	15.5%
有効回答数	205	100.0%	163	100.0%	368	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	5.629 <sup>a</sup>	4	.229
尤度比	5.655	4	.226
有効なケースの数	368		

a. 0 セル (.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度は 15.06 です。



(コメント)

- ・ 「大いに・少し歓迎する」と答えた有権者が無党派層で 39%、支持政党ありで 31.9%と新党結成を歓迎する有権者は無党派層のほうが多い。ただし、有意な差とはいえない。
- ・ 「あまり・まったく歓迎しない」と答えた有権者が支持政党ありで 54.6%となった。支持政党ありの過半数が新党結成に否定的である。

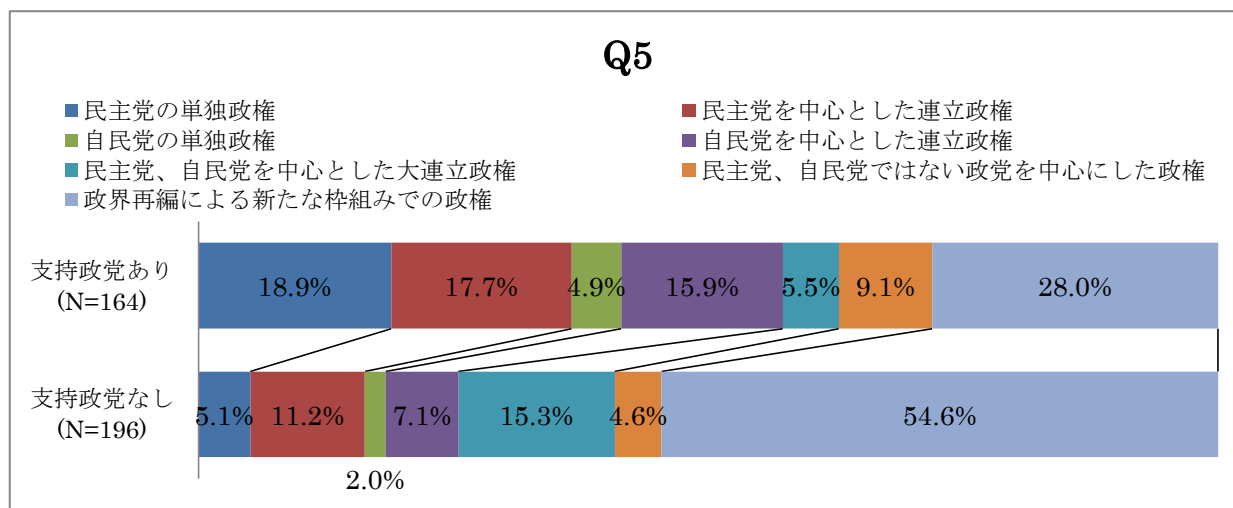
Q5. あなたが最も望ましいと思う政権の姿を、次の中から一つ選んでください。

	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 民主党の単独政権	10	5.1%	31	18.9%	41	11.4%
2 民主党を中心とした連立政権	22	11.2%	29	17.7%	51	14.2%
3 自民党の単独政権	4	2.0%	8	4.9%	12	3.3%
4 自民党を中心とした連立政権	14	7.1%	26	15.9%	40	11.1%
5 民主党、自民党を中心とした大連立政権	30	15.3%	9	5.5%	39	10.8%
6 民主党、自民党ではない政党を中心とした政権	9	4.6%	15	9.1%	24	6.7%
7 政界再編による新たな枠組みでの政権	107	54.6%	46	28.0%	153	42.5%
有効回答数	196	100.0%	164	100.0%	360	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	51.339 <sup>a</sup>	6	.000
尤度比	52.870	6	.000
有効なケースの数	360		

a. 0 セル (.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度は 5.47 です。



(コメント)

- ・ 支持政党の有無と望ましい政権の姿の間には非常に強い関連性がうかがえる。
- ・ 無党派層の過半数が「政界再編による新たな枠組みでの政権」を望ましいと考えている。支持政党ありでも 1/4 以上が望ましいと答えた。
- ・ 支持政党ありでは「民主党の単独政権・民主党を中心とした連立政権」を望ましく思う有権者が合わせて 36.6%と無党派層の 16.3%に比べてかなり多い。
- ・ 「自民党の単独政権」を望ましいと思う有権者はいずれも低いですが、支持政党ありの 15.9%が「自民党を中心とした連立政権」を望ましいと答えた。
- ・ 無党派層の 15.3%が「民主党・自民党を中心とした大連立政権」を望ましいと考えている。支持政党ありでは 5.5%であり、大連立の支持率が約 1 割多い。

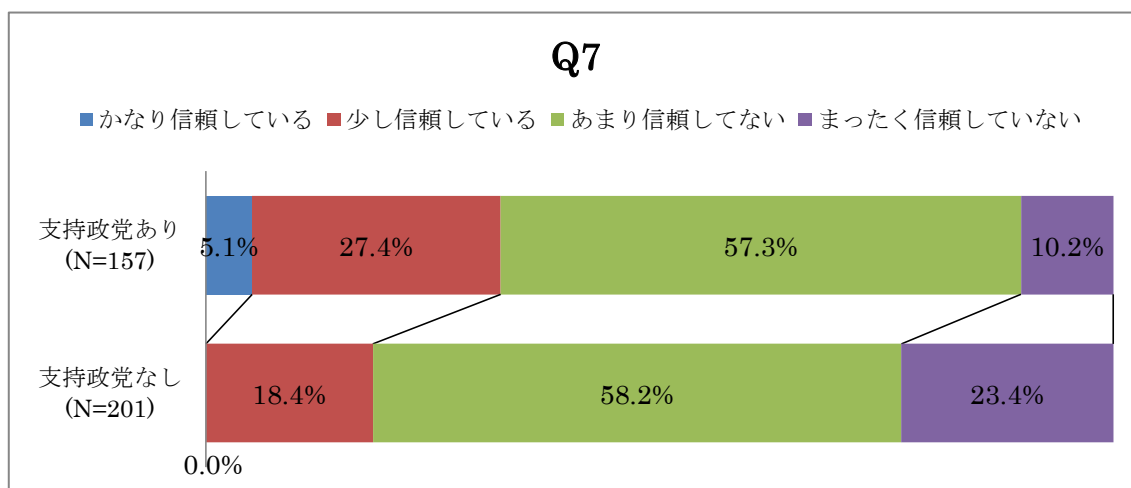
Q7. 特定の政治家ではなく、一般的あるいは全体的な政治家に対して、あなたはどの程度、信頼していますか。該当する番号に○を付けてください。

	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 かなり信頼している	0	0.0%	8	5.1%	8	2.2%
2 少し信頼している	37	18.4%	43	27.4%	80	22.3%
3 あまり信頼していない	117	58.2%	90	57.3%	207	57.8%
4 まったく信頼していない	47	23.4%	16	10.2%	63	17.6%
有効回答数	201	100.0%	157	100.0%	358	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	22.153 <sup>a</sup>	3	.000
尤度比	25.589	3	.000
有効なケースの数	358		

a. 2 セル (25.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は 3.51 です。



(コメント)

- ・ 支持政党の有無と政治家への信頼度には関連性があることが分かる。
- ・ 政治家を「あまり・まったく信頼していない」と答えた割合は無党派層で 81.6%にのぼり、支持政党ありでも 67.5%と高い値を示した。
- ・ 無党派層には政治家を「かなり信頼する」と答えた有権者はおらず、「まったく信頼しない」と答えた割合は支持政党ありの 2 倍以上、ほぼ 4 人に 1 人にのぼる。

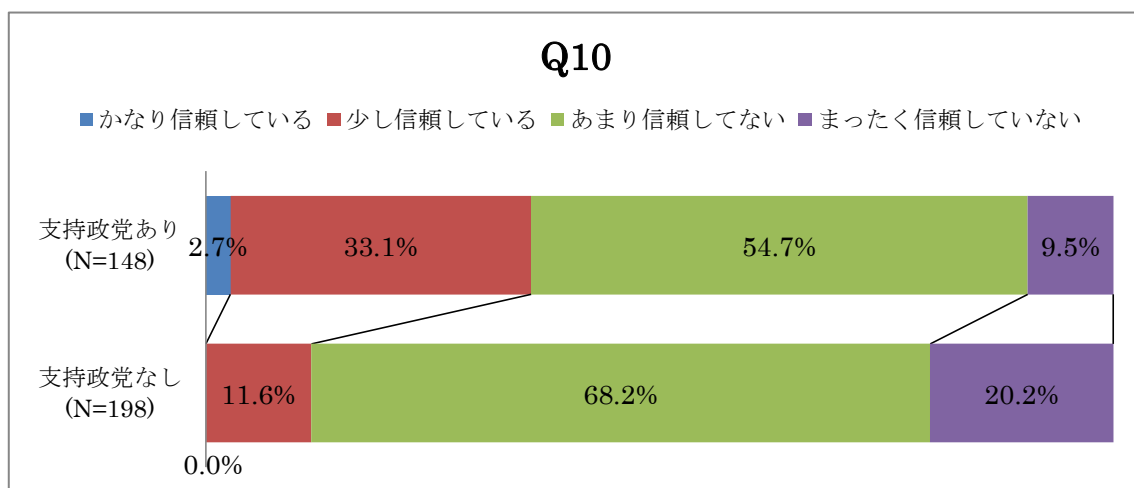
Q10. 特定の政党ではなく、一般的あるいは平均的な政党に対してあなたほどの程度、信頼していますか。  
該当する番号に○を付けてください。

	支持政党なし		支持政党あり		有効回答数	
1 かなり信頼している	0	0.0%	4	2.7%	4	1.2%
2 少し信頼している	23	11.6%	49	33.1%	72	20.8%
3 あまり信頼していない	135	68.2%	81	54.7%	216	62.4%
4 まったく信頼していない	40	20.2%	14	9.5%	54	15.6%
有効回答数	198	100.0%	148	100.0%	346	100.0%

カイ 2 乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	32.868 <sup>a</sup>	3	.000
尤度比	34.597	3	.000
有効なケースの数	346		

a. 2 セル (25.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は 1.71 です。



(コメント)

- ・ Q7 とやや類似した分布となっているが、支持政党の有無との関連性はこちらのほうが強い。
- ・ 無党派層には政党を「かなり信頼する」と答えた有権者はおらず、「少し信頼している」と答えた割合も支持政党ありの 1/3 程度と Q7 政治家に対する信頼よりもさらに低くなっている。
- ・ 無党派層で政党を「あまり・まったく信頼していない」と答えた割合は 88.4% と非常に多い。「まったく信頼しない」と答えた割合は支持政党ありの 2 倍以上となっている。ただし、政治家に対するものよりは若干低い。
- ・ 支持政党ありでも政党を「あまり・まったく信頼していない」と答えた割合は 64.2% と高く、「かなり信頼する」は 2.7% と Q7 政治家への質問よりも低い。しかしながら「少し信頼している」の割合が 33.1% と高かったことで、支持政党ありの「かなり・少し信頼している」の合計はほんのわずかだが Q7 政治家への信頼よりも高くなった。